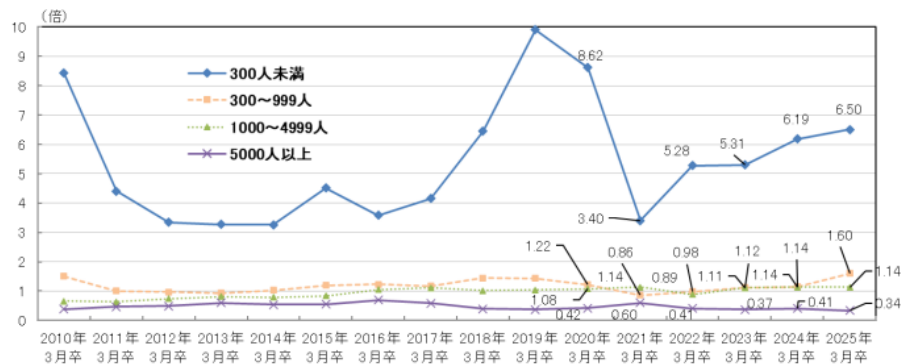




Pick Up-1

【大卒求人倍率1.75倍】引き続き高い採用意欲が続く見込み (リクルートワークス研究所)



※出典：ワークス大卒求人倍率調査（2025年卒）

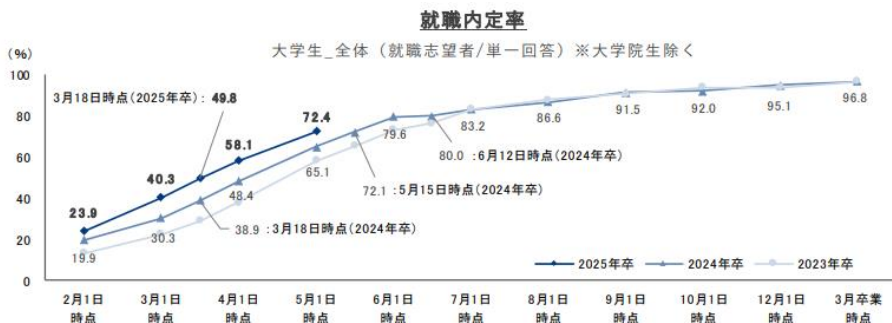
最新の求人倍率が公開されました。

全体では前年から微増ですが、特徴的なのは5000人以上は低下し、2010年以降最も低くなり、中小企業では上昇している点です、

「売り手市場」と一言で言っても企業規模によって全く異なる様相であると採用の現場でも強く感じます。

Pick Up-2

就職内定率は72.4%（前年+7.3%） / 進路確定率は51.0%（前年+9.5%） (就職みらい研究所)



※出典：就職みらい研究所
就職プロセス調査（2025年卒）「2024年5月1日時点 内定状況」

5月月初となり、最新の内定率が各社からレポートされています。

前年と比較し、7~10%程度高い数字が報告されており、前倒しの傾向が今年も続いています。

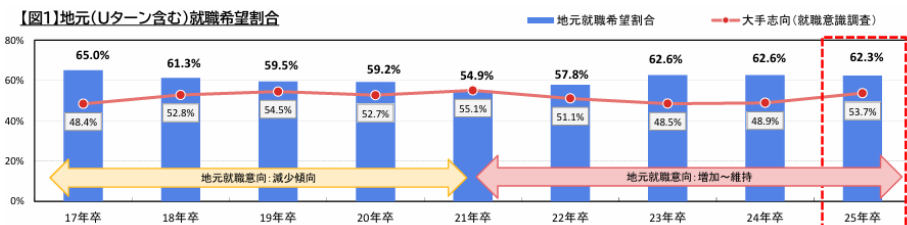
また、内定率の上昇以上に活動終了率が上がっており、特に男性の活動終了率が女性と比較して高まっているのも特徴です。

Pick Up-3

大手企業志向増加の一方で、6割以上の学生が地元就職を希望 (マイナビ)



【図1】地元(Uターン含む)就職希望割合



※出典：マイナビ2025年卒大学生 Uターン・地元就職に関する調査

大手志向の高まりに加えて、地元就職志向の高まりが続いています。

ライフイベントや将来を見越して、

「勤務地」が最終的な就職先の決定に影響を与える割合が高まっているのは、漠然とした将来に対する不安も大きい様子です。